

鹿児島銀行におけるアグリビジネスへの取組み

鹿児島銀行 自然部



I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

鹿児島銀行の営業基盤

▶ 平成31年3月末時点

総資産
4兆5,800億円

預金残高
3兆9,582億円

貸出金残高
3兆4,075億円

ATM台数
743台

従業員数
2,149名

店舗網

▶ 平成31年3月末時点

鹿児島銀行キャラクター

しろどん
-SHIRODON-

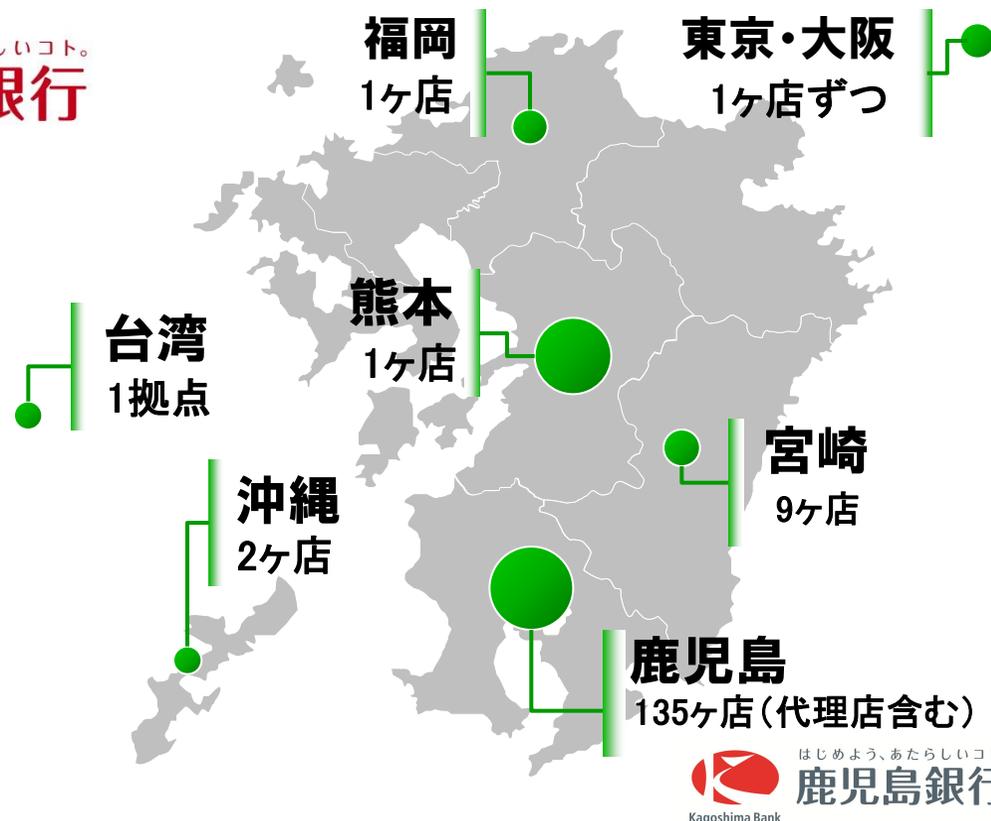


はじめよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行

Kagoshima Bank



創立 明治12年10月6日
資本金 181億30百万円
本店所在地 鹿児島市金生町6番6号



I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

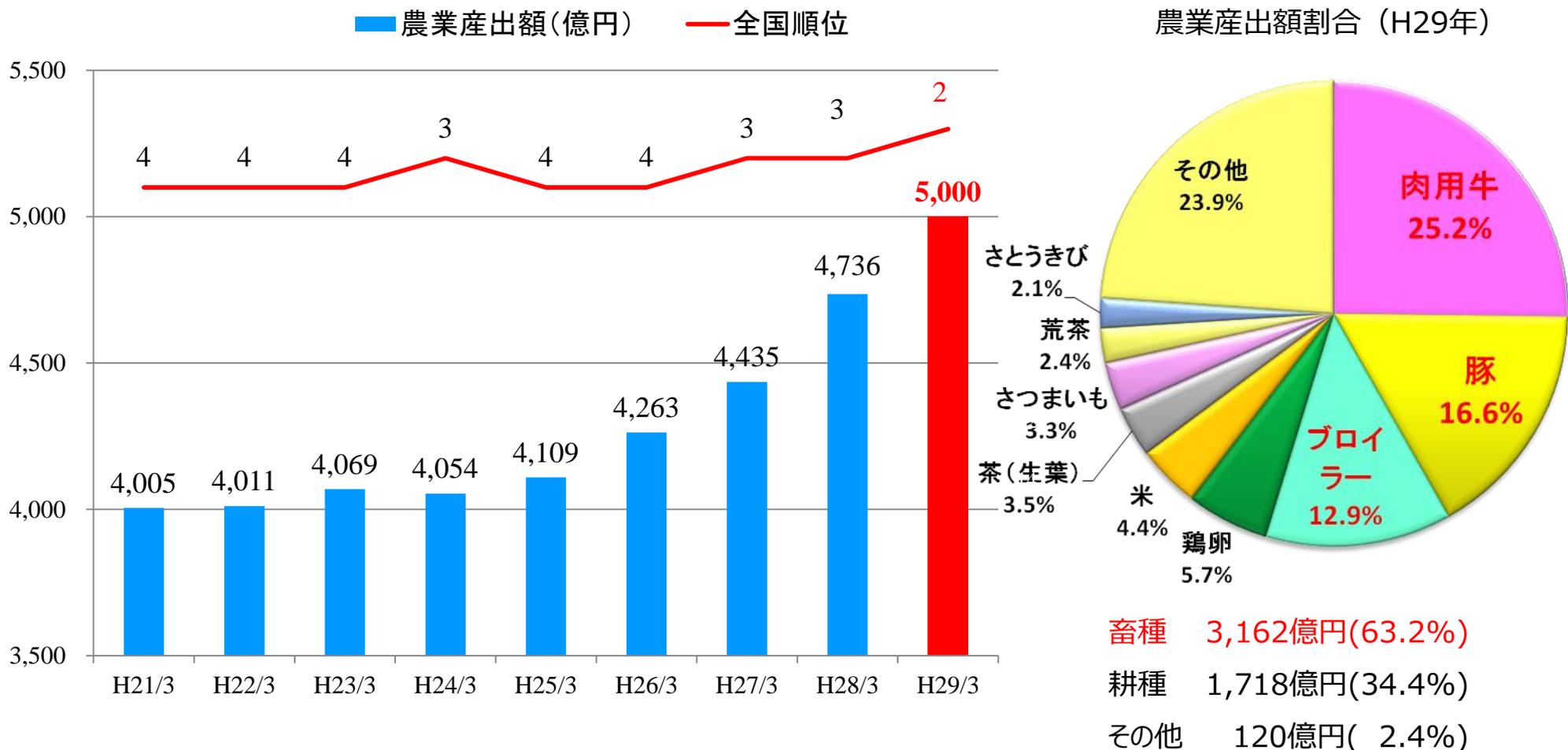
2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

Ⅱ. 鹿児島県の農畜産業の現状

- ▶ 鹿児島県は南北600kmの温暖な気候に恵まれており、広い耕地を活かした農畜産業が盛ん。
- ▶ 農業産出額は平成29年に茨城県を抜き、北海道に次ぐ第2位となった。全国有数の農業県である。



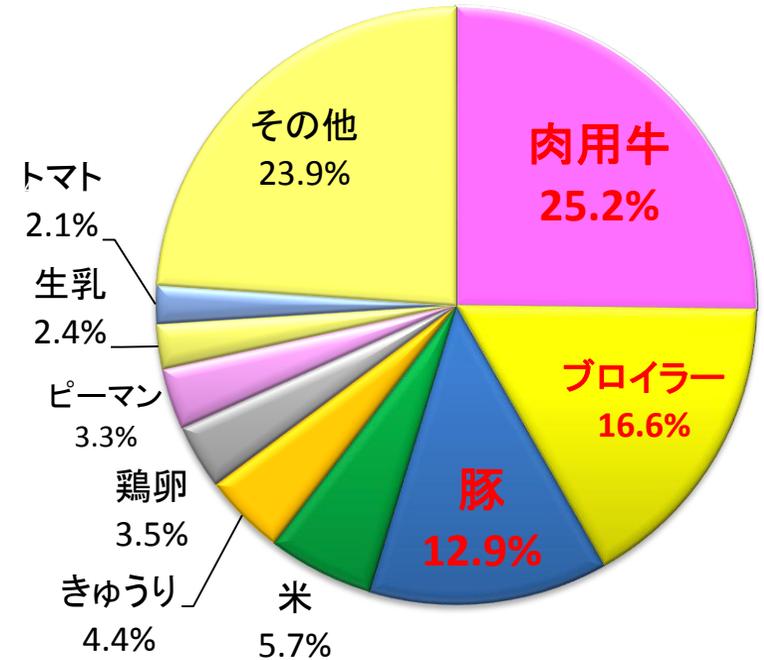
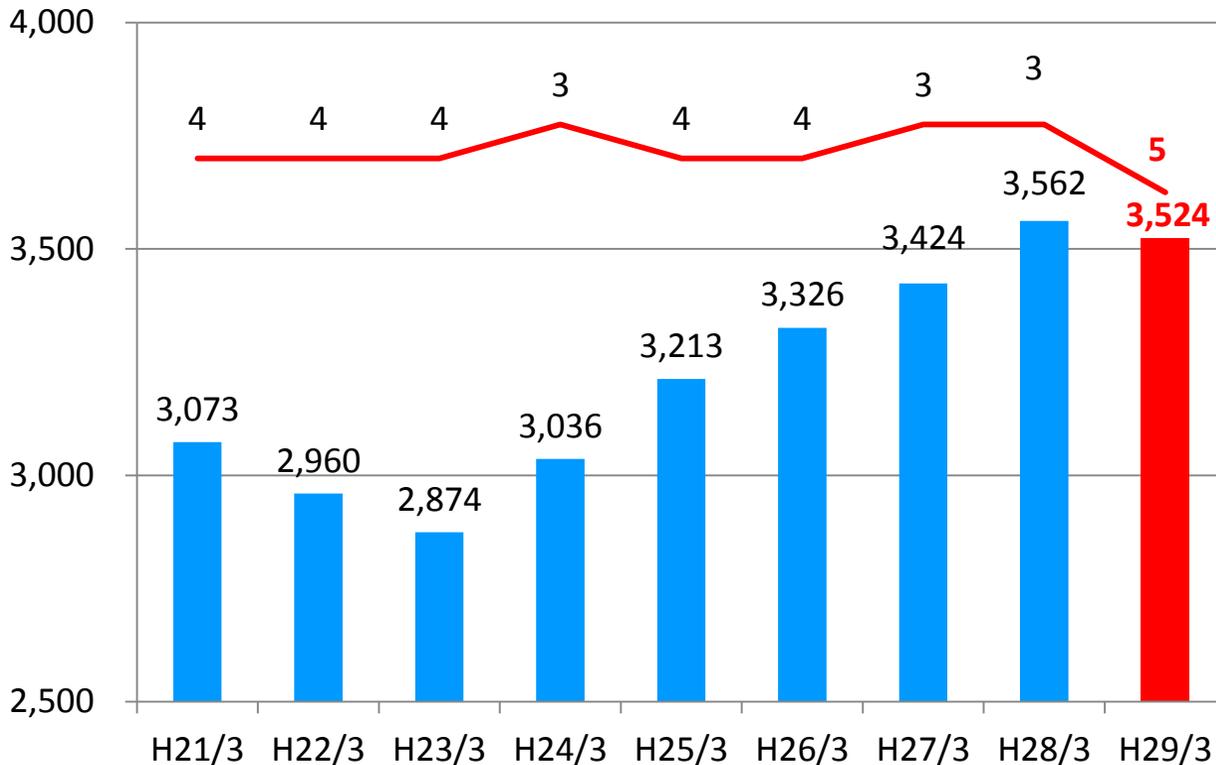
資料：農林水産省「農業産出額及び生産農業所得」から作成

Ⅱ. 宮崎の農畜産業の現状

- ▶ 宮崎県は平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間及び快晴日数は全国トップクラス。
- ▶ 耕種ではスイートピー、きゅうり、マンゴー、ピーマンが全国トップシェアの産出額を誇っている。
- ▶ 畜種ではブロイラーが産出額全国1位、豚は飼養数全国2位、肉用牛は飼養数全国3位。

■ 農業産出額（億円） — 全国順位

農業産出額割合（H29年）



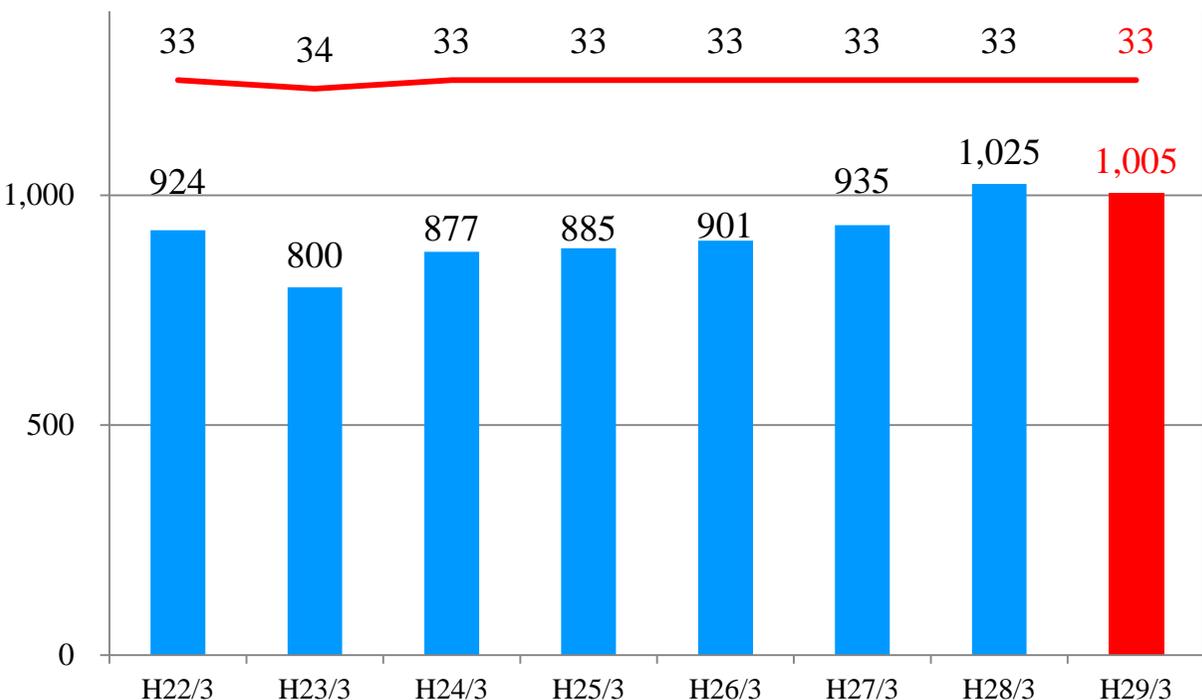
畜種 2,260億円(64.1%)
耕種 1,229億円(34.9%)
その他 135億円(3.8%)

資料：農林水産省「農業産出額及び生産農業所得」から作成

Ⅱ. 沖縄の農畜産業の現状

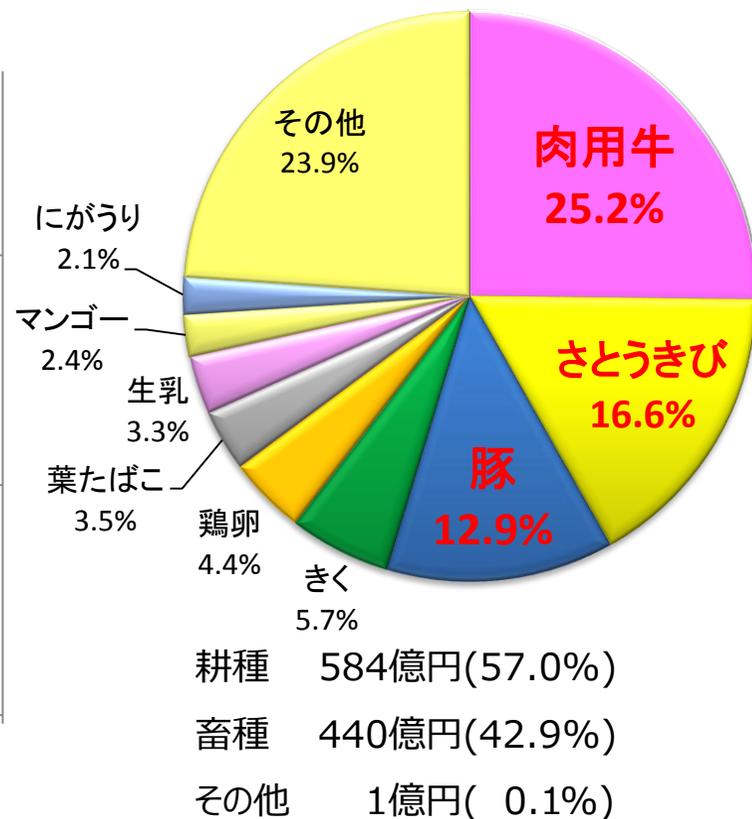
- ▶ 沖縄は本土と東南アジアの中間に位置し、亜熱帯性気候の地域特性を活かした多岐にわたる農畜産業を展開。
- ▶ 耕種ではサトウキビやゴーヤー・マンゴーに加え、菊や洋蘭・切り葉などの花卉が全国トップクラスの産出額を誇り、畜種では繁殖農家が多く、素牛の供給基地であると共に、「石垣牛」や「アグー豚」等農畜産物のブランド化にも力を入れている。

■ 農業産出額(億円) — 全国順位



資料:農林水産省「農業産出額及び生産農業所得統計」から作成

農業産出額割合 (H28年)



I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

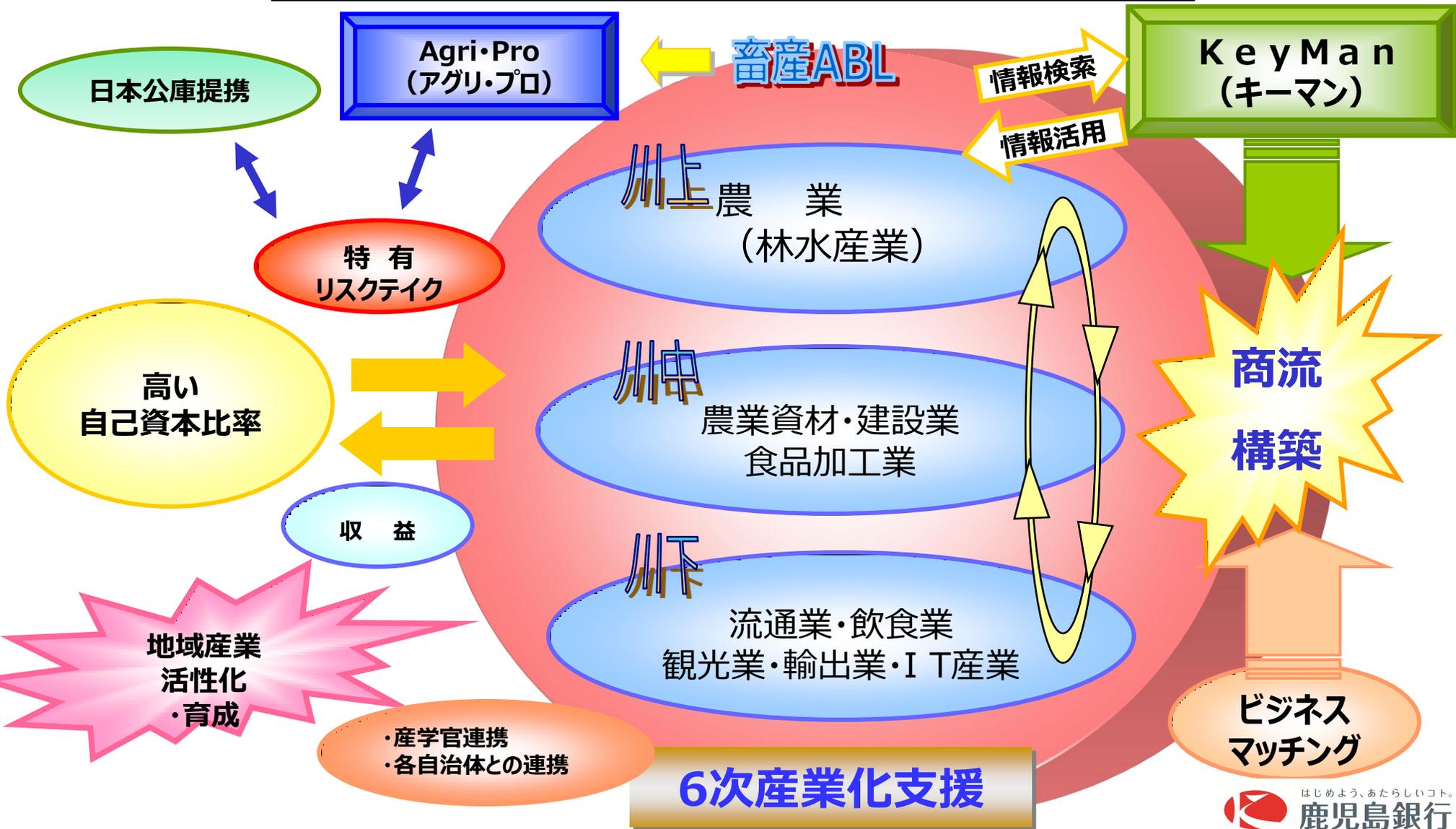
1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

アグリクラスター ～農業・健康・環境・観光～



- ・平成9年 営業支援部設立、農業金融へ着手
県農業法人協会への参加（事務局）
- ・平成12年～15年 審査支援システム（KeyMan）の構築
- ・平成15年 当行OBを通じた農林公庫との情報交換

- ・平成15年 第2次マスタープランにて「アグリクラスター構想」を提唱
- ・平成16年 農林漁業金融公庫と『業務協力協定』締結（民間金融機関で初）
鹿児島県庁農政部へ行員を派遣

- ・平成17年4月 営業支援部にアグリビジネス専担者を2名配置。より専門的な推進態勢を整備
- ・地域密着型金融推進計画にてアグリクラスター関連業種向け貸出金純増目標50億円を掲げる

- ・平成18年 11月 アグリビジネス専担グループを『アグリクラスター推進室』に独立昇格
- ・平成22年 9月 AgriPro（肥育・繁殖牛ABL管理システム）完成
- ・平成23年 5月 野村アグリプランニング & アドバイザリーと業務協力協定締結
- ・平成23年 8月 地元大手畜産業者へ行員を研修派遣（1年間） ※現在累計6名派遣
- ・平成27年 10月 青果卸売業者へ行員を研修派遣（1年6ヶ月）
- ・平成30年 4月 アグリクラスター推進室が独立し、「自然部」新設

※平成31年3月末時点、アグリクラスター関連業種貸出金残高～972億円

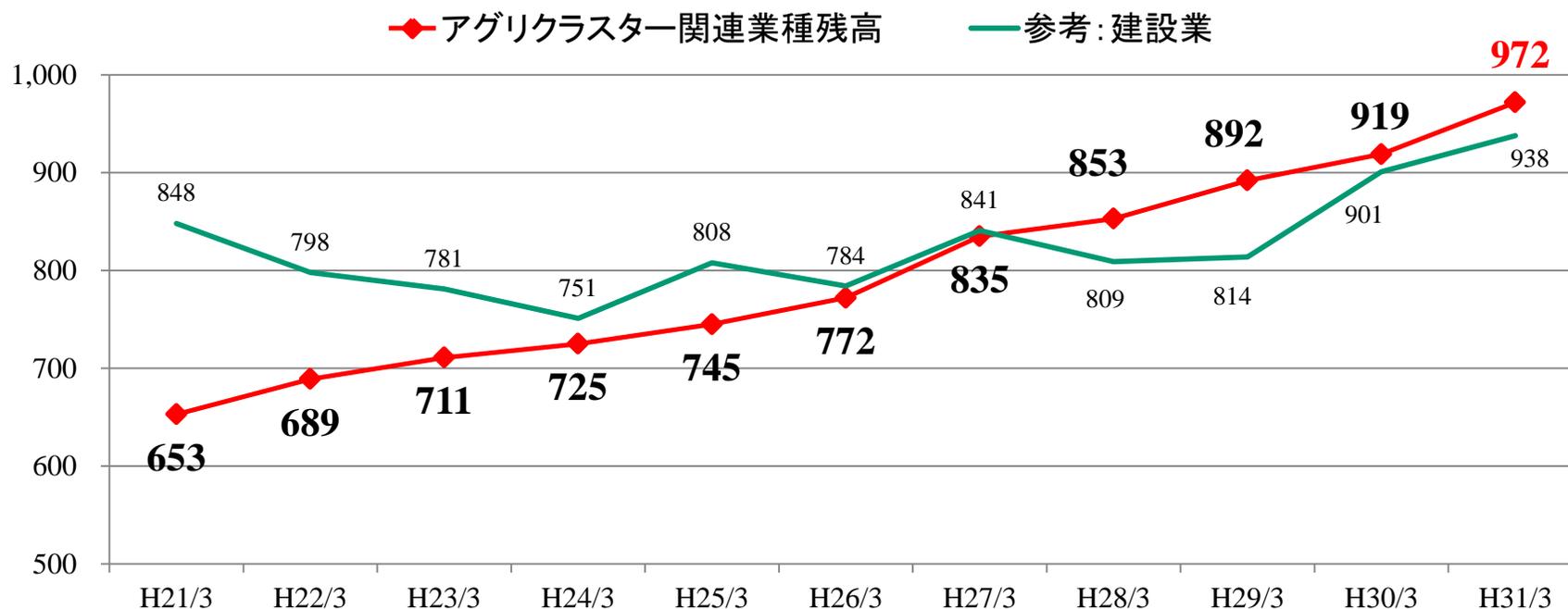
「アグリクラスター関連業種」～農業・畜産業に加え、肉製品製造・酒類製造および製茶を加えた残高。これに「林業」・「水産業」を加えた農林水産業種残高は1,143億円

※『アグリクラスター構想』

地域特性を活かした取組みとして、本県基幹産業である農業（川上）・食品加工業（川中）を中心とし、川下である流通、更に関連産業まで含めた商流に係る産業群（アグリクラスター）の活性化、拡大を支援する取組み。

アグリクラスター関連業種 (農畜産業・製茶業・酒類製造業・肉製品製造業)

(単位：億円)



I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

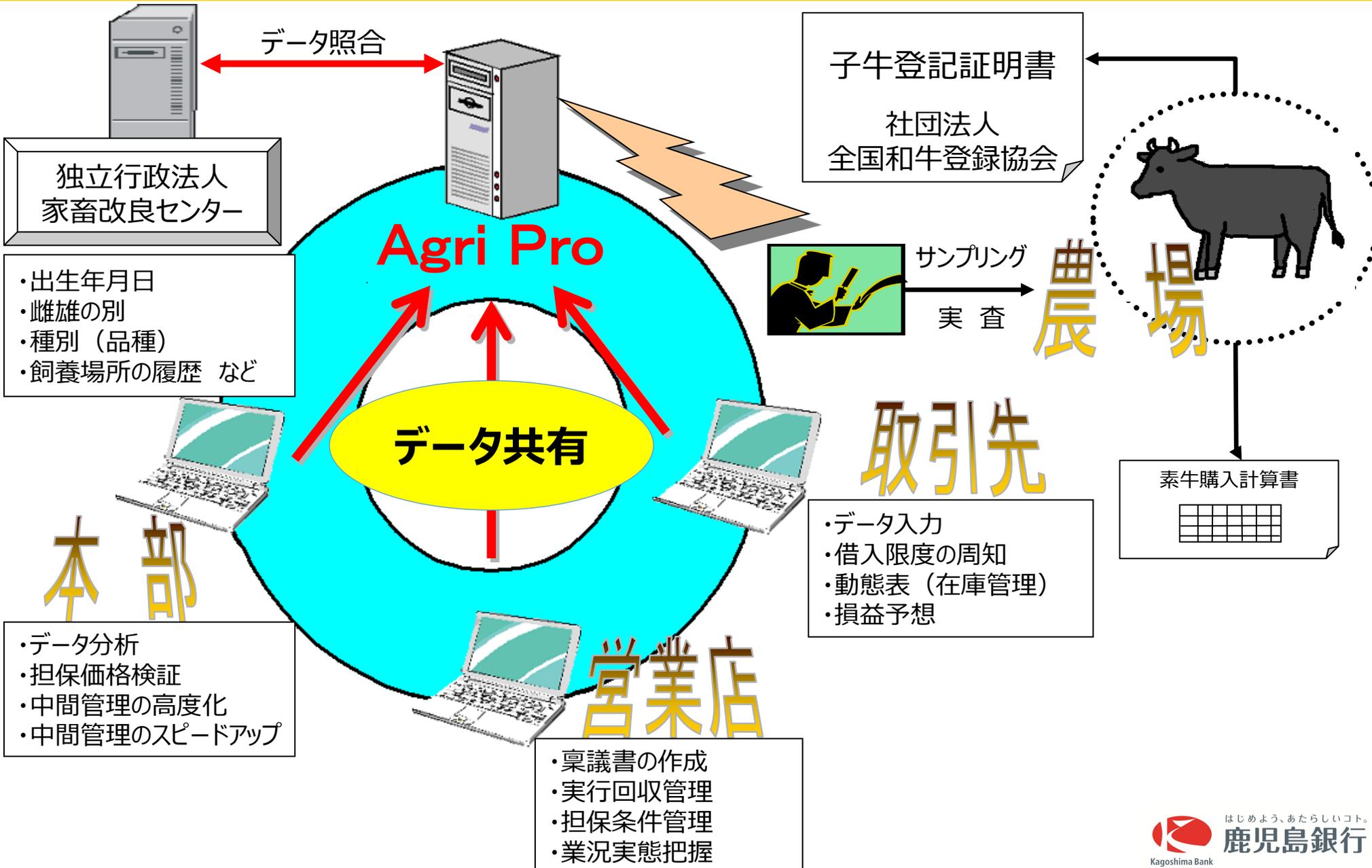
IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

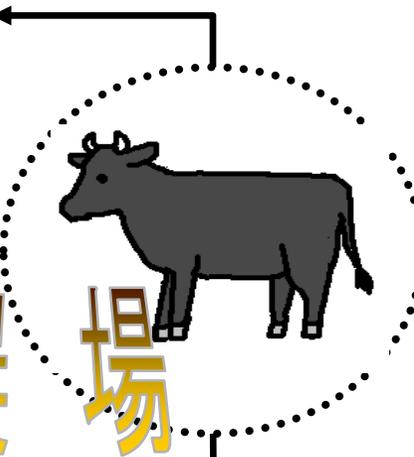
4. ファンド活用実績



独立行政法人
家畜改良センター

- ・出生年月日
- ・雌雄の別
- ・種別 (品種)
- ・飼養場所の履歴 など

子牛登記証明書
社団法人
全国和牛登録協会



サンプリング
実査

農 場

素牛購入計算書

取引先

- ・データ入力
- ・借入限度の周知
- ・動態表 (在庫管理)
- ・損益予想

営 業 店

- ・稟議書の作成
- ・実行回収管理
- ・担保条件管理
- ・業況実態把握

本 部

- ・データ分析
- ・担保価格検証
- ・中間管理の高度化
- ・中間管理のスピードアップ

● 顧客の導入メリット

– 借入可能額の表示

- 在庫評価額の範囲内で借入可能額が表示されるため、資金繰り計画が立て易い

– 経営指標の入手

- 動態表（家畜の出荷頭数・死亡頭数等を表にしたもの）の自動作成
- 損益予想シミュレーション

● 銀行の導入メリット

– 銀行内における担保データ・中間管理データの共有化

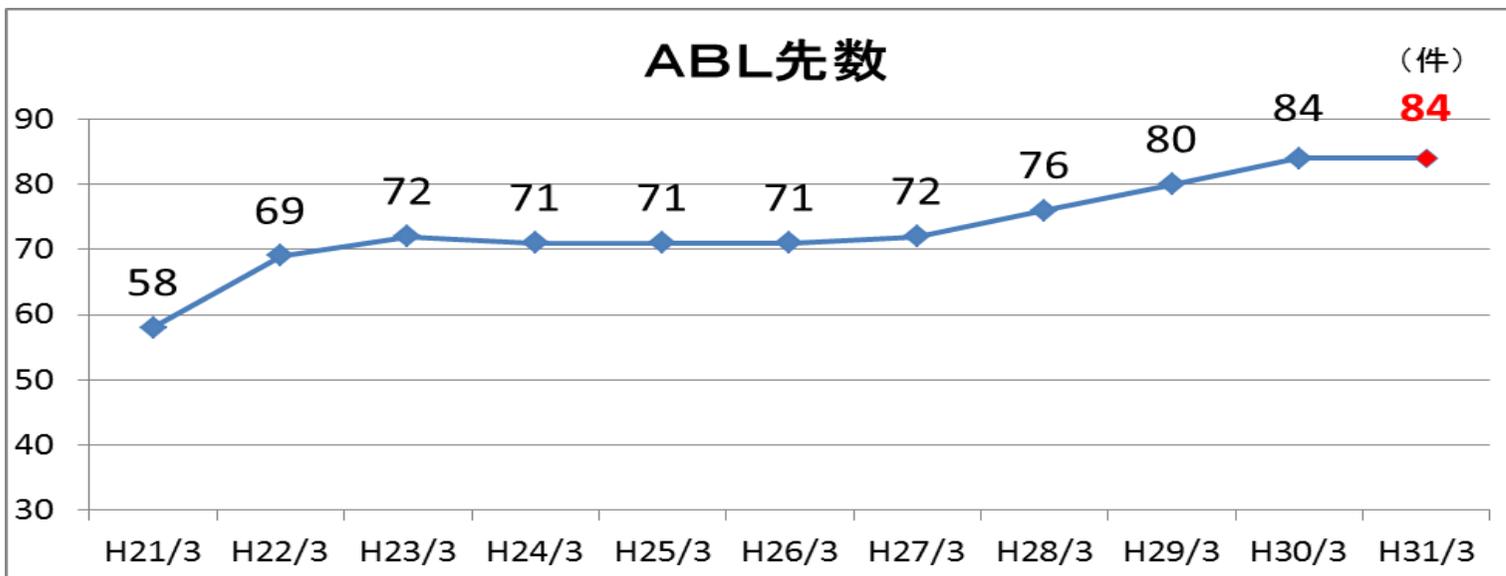
- 営業店、本部（融資部・自然部）の情報共有

– A B L 担保データ管理事務の省力化

- 人海戦術からシステム対応へ
- 事務手続きの標準化、期日管理の簡素化

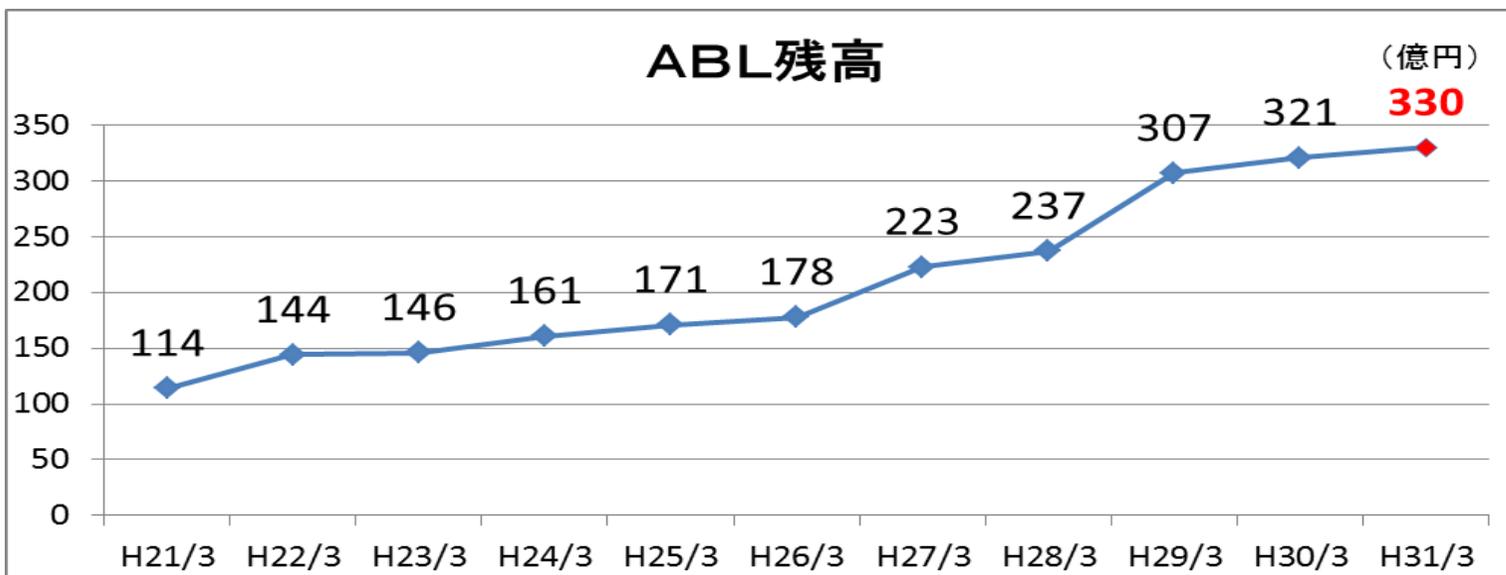


IV-1. 畜産ABLにおける融資先数・金額推移



H31/3期 内訳

肉用牛	63先
養豚	20先
その他	1先
合計	84先



H31/3期 内訳

肉用牛	274億円
養豚	49億円
その他	7億円
合計	330億円

I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

- ▶ 鹿児島銀行では、平成28年9月に、「農業従事者の減少や高齢化」「耕作放棄地の増加」といった地域が抱える農業分野の課題解決へ向け、各事業パートナーとともに農業法人を共同設立。
- ▶ 収益性・効率性の向上による農業法人の「真の企業化」を目指し、新たな農業のビジネスモデルを構築することで、地域の雇用を創出し、農業の裾野拡大を目指す。

農業を取り巻く課題

農業従事者の減少・高齢化

耕作放棄地の増加

安価な海外農産物の流通

事業パートナーと共に課題解決へ

会社概要

会社名	株式会社 春一番
所在地	鹿児島県日置市東市来美山
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産、加工および販売 ・農業に関する各種調査、企画、研究、システム開発
出資企業	株式会社鹿児島銀行 九州共同株式会社 北九州青果株式会社 鹿児島中央青果株式会社 園田陸運株式会社 K F G アグリファンド
生産品目	パプリカ、玉ねぎ（早生）等 
資本金	5,000万円

【設立の目的】 農業を魅力ある産業へ発展させる

効率的で生産性・収益性の高い農業の追求

- ◎ 農業ICTや環境制御機能を導入し、生産現場から出荷までを一元管理
- ◎ 栽培環境、技術の見える化（データ化）により、栽培技術の継承に繋げる
- ◎ 南九州の温暖な気候を活かした「春の先取り」可能な品目を生産し、全国に先駆けた出荷をすることで、高値での取引を目指す

新しい農業ビジネスモデルの確立による雇用の創出

- ・安定した給与、週休制の導入、社会保険加入等の就労条件整備
- ・儲かるビジネスモデルの構築（将来的に6次産業化へも展開）

就農希望者、農業従事者を増やすことで農業の裾野拡大へ

- 法人設立後、「極早生玉ねぎ」の生産に着手。夏は「オクラ」の生産や地元加工メーカーと連携し「オクラ入りのさつま揚げ」を企画・販売。耕作面積も少しずつながら拡大中。



【上段左側】

初出荷した玉ねぎ。市場・店頭での評価も上々

【上段右側】

さつま揚げメーカーとのコラボ。連日完売の盛況振り



【圃場の様子】

★現在の取組み品目★

パプリカ・たまねぎ・にんにく

- スマート農業の取掛かりとしてICT機器を導入、様々なデータを計測し、蓄積中。
- 環境制御型施設(ハウス)を導入し、パプリカの通年栽培を開始。



- 気象条件により天窓・側窓が自動開閉したり、加温する機能を完備。
- 灌水・施肥も養液システムによる自動化。

- 温湿度・日射・土壌水分/EC、地温等のデータを栽培管理に活用中

- 30年5月よりパプリカの試験栽培をスタート！現在通年稼動中。
※フル稼働時1,200株規模（年間収量5,000kg）の見込み。
- 周年栽培による労働力平準化および業績安定に繋げる。



I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

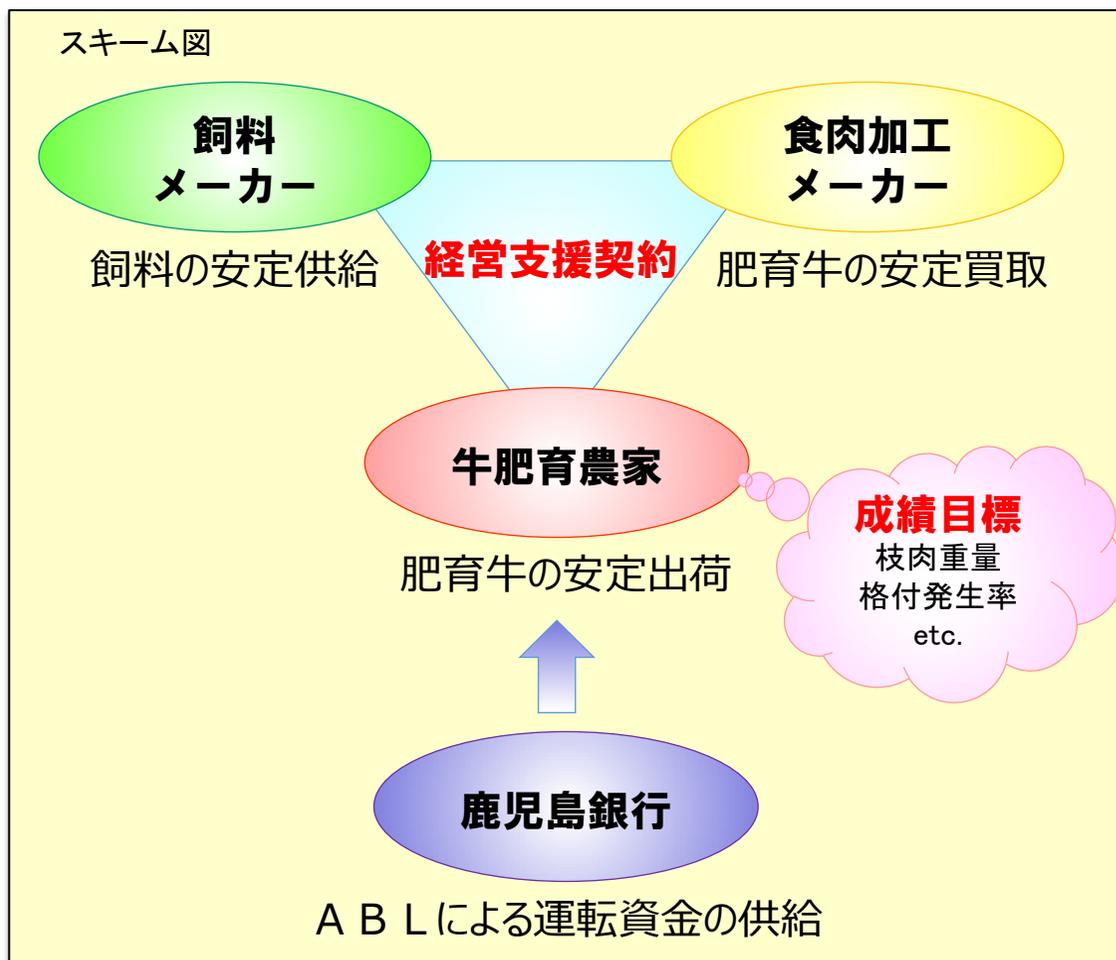
1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

- 牛肥育農家、飼料メーカー、食肉加工メーカーとの間で経営支援契約を締結
- 牛の出荷成績目標を定め、農家の目標達成のために飼料メーカー、食肉加工メーカーが支援
- 3社および銀行にて定期的に経営実績報告・検討会を開催
- 業況確認、経営支援に関する事項について確認し、必要に応じて対策を実施



牛肥育農家のメリット

- 肉用牛の安定出荷先の確保
- 枝肉成績向上への各社支援

食肉加工メーカーのメリット

- 肉用牛の安定仕入先の確保

飼料メーカーのメリット

- 飼料の安定販売先の確保

鹿児島銀行のメリット

- 業況把握、A B L 管理の高度化

牛肥育農家の経営改善・安定に向け、
関係各社が密に連携

I. 鹿児島銀行の概要

II. 鹿児島県・宮崎県・沖縄県の農畜産業の現状

III. アグリクラスター構想の取組み

IV. 取組事例紹介

1. ABL活用による畜産向け融資

2. 農業法人春一番の設立

3. 三社スキームによる経営改善支援

4. ファンド活用実績

ファンド名	投資先	投資時期	投資目的
かごしま新産業創生ファンド	鹿児島オリーブ(株)	2014年11月	オリーブを活用した地域、及び産業の振興
肥後・鹿児島地域活性化ファンド	(株)イトジャパン	2016年8月	農水産物等の輸出拡大による地域の活性化
かごしまアグリクラスター6次産業化ファンド	(株)さつま福永牧場	2015年3月	熟成肉、及び精肉の加工販売事業の強化
	(株)ビースマイルプロジェクト	2016年3月	新たなバリューチェーン構築による農畜産業の活性化
KFG地域企業応援ファンド	日本なまず生産(株)	2015年11月	なまず養殖事業の普及による地域振興
KFGアグリファンド	(株)春一番	2016年9月	農業における諸問題の解決を通じた地域の活性化
	(株)日野洋蘭園	2017年10月	事業承継、及び今後の事業継続・発展支援
かごしまバリューアップファンド	(株)ファームノートホールディングス	2018年10月	クラウド型牛群管理システムの普及による農家の所得向上支援

ご清聴ありがとうございました。



Kagoshima Bank

はじめよう、あたらしいコト。

鹿児島銀行



はじめよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行

Kagoshima Bank